

# 第4期あきたの教育振興に関する基本計画（素案） に関する高校生の意見募集結果について

---

令和7年3月  
秋田県教育委員会

# 意見募集の概要

【対象者】秋田県内の高等学校に在学している生徒

【調査期間】令和6年12月10日（火）～令和7年1月9日（木）  
（※パブリックコメントと同期間に実施）

【調査方法】Googleフォームを活用したWebアンケート調査

【調査内容】① 「第4期あきたの教育振興に関する基本計画（素案）」の内容について  
② その他秋田県の今後の教育や学校の在り方について

意見募集の結果、合計 **683** 件の御意見を頂きました！

御協力いただき、誠にありがとうございました！



頂いた御意見の一部を  
御紹介します



- ◆ 良い案だと思う。
- ◆ 全体的によく考えられていて、実行されれば素晴らしい秋田をつくっていけないのではないかと思った。
- ◆ 推進指標などが具体的に書かれていて、分かりやすかった。
- ◆ 性の多様性について書かれていて、嬉しかった。
- ◆ グローバル化に対応した教育や多様性の尊重など、最近の社会のニーズをしっかりと捉えていて、今の時代に合った計画だと感じた。
- ◆ 少子化が進んでいる今、誰一人取り残すことなく全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の実現は、とても良い考えだと思った。
- ◆ それぞれの目標で具体的な数値が掲げられていて、今までこんなに具体的な目標の下で先生方が授業等を行ってくださっていたとは知らなかった。生徒たちにも目標をはっきりと伝えることで、生徒自身も、もっと意識高く勉強に励むかもしれないと感じた。



- ◆ 内容に具体性を欠く。
- ◆ 内容が多すぎて分かりづらい。もっと分かりやすく書くことで、保護者や地域住民の理解を得やすくすべき。
- ◆ 本当に実現できるとは思えない。



- ◆ フィールドワークや地域の魅力を再発見するような取組を積極的に行うべきである。
- ◆ 社会は急速に情報化しており、これからの時代に求められる人材も大きく変化していく。5教科の学習で得られるものも多いが、将来、直接的に活かせるものを積極的に授業に取り入れてほしい。
- ◆ 研究活動など、課題を見つけて未知のものに取り組む経験は大事だと思う。博士号教員や大学教員を招いた活動はぜひ継続してほしい。
- ◆ 大都市の先進校との合同授業など、学習意識の向上につながるような取組を期待したい。
- ◆ 図書館を活用する人は少ないが、探究活動において実際に自分で調べることは大切なので、利用促進は重要。
- ◆ 土曜日や長期休み前の講座などの課外活動について、強制ではなく選択制とすることで、一人一人の生徒に応じた教育になると思う。内容も、プリントなど自宅で学習可能なものであり、意義を感じられない。

## 該当する施策・取組

- 基本方針1 社会の持続的な発展を牽引する力の育成
  - (1) 家庭・地域・企業等と連携したキャリア教育の推進
    - ① ふるさとを学びのフィールドとした学習活動の推進
      - 地域の活性化に貢献する活動等の推進 など



- ◆ 小さいうちからネイティブの人と話す機会や海外に行く機会を設けることにより、英語の楽しさを体験させると良いと思う。
- ◆ 英語でコミュニケーションをとる機会が少ない。ALTと交流し、実践的な英語を学ぶことのできる授業を増やしてほしい。
- ◆ 座学ではなく、あるテーマに沿って英語のみを利用して会話する時間や、他国の方々とインターネットを活用して会話する時間にするなど、より実用的な英会話能力を身に付けるための経験を積むことが重要。
- ◆ 中学校で、英語の先生が外国の方とオンラインにより交流する機会を設けてくださったことが強く記憶に残っている。こうした取組により、意欲的に英語を学ぶようになり、英語力向上が図られるのではないか。
- ◆ 単語を覚えることの重要性を中学校で教えてほしい。中学校と高校の難易度の違いに慣れるのが大変だった。

## 該当する施策・取組

- 基本方針1 社会の持続的な発展を牽引する力の育成
  - (3) グローバル化に対応した外国語教育と国際交流の推進
    - ③ 異文化体験活動の促進
      - 海外の高校等との交流の推進 など



- ◆ I C Tを活用した授業やオンラインによる授業を増やしてほしい。
- ◆ Google for Education への参画は非常に良い取組なので、今後もぜひ継続してほしい。
- ◆ 授業内容に即した I C T活用の方法が確立されていない。先生側の知識の定着と正しい利用の仕方考えることが必要不可欠である。
- ◆ I C Tはメリットばかりではない。注意点も含め、教師も児童生徒もしっかりと理解する必要がある。
- ◆ I C Tの利用時間が増えることで視力低下につながる可能性がある。I C T機器の管理の仕方や健康被害について呼びかけてはどうか。
- ◆ I C Tを活用して授業を行うことは賛成だが、I C Tで課題を出されるのは、紙よりも頭に入りづらい。
- ◆ I C Tの教育活用について今一度検討する必要がある。デジタル化で効率化できる部分と従来の方法で良い部分を見極める必要がある。

## 該当する施策・取組

- 基本方針2 確かな学力の育成
  - (2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
    - ② I C Tを活用した教育の推進
      - I C T活用指導力の向上を図るための研修等の実施 など



- ◆ 頭髪制限・靴下の色の指定など、現代の常識に合っていない。
- ◆ 校則ができた理由を明確にしてもらいたい。そうでなければ、守る意味が感じられない。
- ◆ 身だしなみに関する縛りが多く、多様性が認められる社会に即していないのではないか。自分自身でTPOを考え、身だしなみを整える力も社会に出る上で必要不可欠である。
- ◆ 女子のメイクは将来的に必要となる技術であり、公共の場である学校においてこそするのがよいと思う。高校からでもナチュラルメイクを許可するべきではないか。
- ◆ 多様性を尊重するのであれば、制服の種類をもっと増やしてほしい。
- ◆ スマホは、社会に出る上で今や必要不可欠なものであり、正しい活用方法等を教えることが重要である。一律に使用禁止するのではなく、一定の縛りを設けた上で利用許可する必要があるのではないか。

## 該当する施策・取組

### □ 基本方針4 豊かな心と健やかな体の育成

#### (2) 主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育の推進

##### ① 主権者や消費者の育成に係る指導の充実

- 生徒主体による校則の見直し等に係る取組事例の収集・周知 など



- ◆ 部活動の時間を増やしてほしい。
- ◆ 部活動と学習を両立できる環境を整えてほしい。平日に大会を行わないようにしてほしい。部活動に所属しているからといって授業を受けられないのはしかたないという考えは時代に合わない。
- ◆ 専門種目の教員がいないため、十分な指導を受けられない。外部指導者に頼れる体制や、優れた指導者を教員として特別枠で採用できるシステムを構築してほしい。
- ◆ 部活動指導をやりたい教員もいると思うので、アンケートを採るべき。自分で経験したことのある部活動を指導することで、生徒の技術や精神面の向上につながると考える。
- ◆ 部員が少なく、休部・廃部が後を絶たない。部活動の在り方を議論してほしい。
- ◆ 部活動に必要な施設・設備・活動費が無い。学校間・部活動間で格差がある。

## 該当する施策・取組

### □ 基本方針4 豊かな心と健やかな体の育成

#### (3) 学校における体育活動の充実と健康教育の推進

##### ① 学校体育・運動部活動の充実

- 運動部活動の一層の充実及び活力アップの推進に向けた指導者の資質向上や校種間連携等の支援



- ◆ 校舎や体育館、設備が老朽化しており、改修してほしい。
- ◆ トイレが古く、清潔感がない。トイレが寒い。
- ◆ Wi-Fiの接続をよくしてほしい。
- ◆ 暖房の稼働基準が厳しいため、教室が寒く、勉強に集中できない。
- ◆ 暖房が効かず、廊下側の席が寒い。
- ◆ 体育館に暖房がなく、冬の体育授業が厳しい。
- ◆ 購買が欲しい。
- ◆ 放課後や休日に学習できる自習室が欲しい。

## 該当する施策・取組

- 基本方針5 子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築
  - (1) 学習の質を高めるための教育環境の整備
    - ① 活力に満ちた魅力ある学校の整備
      - ▶ 公共施設等総合管理計画に基づく学校施設の計画的な改修 など



- ◆ 生徒から見て、先生方の業務量が多いのが心配になる。もっと負担を減らすべきだと思う。
- ◆ 学校の先生方の勤務時間が長すぎると思う。私たちのために夜遅くまで残って仕事をしてくださっているのがとてもありがたいと思うからこそ、先生方には元気でいてほしい。
- ◆ 私は教員志望であるが、過酷な労働環境から、志望するのを少しためらっている。やりがいで教員を選びにくくなっており、労働環境の負の側面を顕著に感じる。
- ◆ 教員不足をどう解消していくのか、教育者をどう育成していくのかについての取組が不十分に感じる。
- ◆ 部活動の顧問に指導意欲の無い先生が就くと、本気で部活動をやりたい生徒の能力が伸ばせなくなる。外部コーチを雇って本格的に指導した方が、生徒と多忙な先生の両者にとって良いと思う。
- ◆ 小学校のテストの採点や宿題の点検を外部委託してはどうか。雇用創出と教員の負担軽減につながると思う。

## 該当する施策・取組

- 基本方針5 子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築
  - (2) 教職員の指導体制の充実と学校における働き方改革の推進
    - ② 教職員の働き方改革の推進
      - 教職員をサポートする専門スタッフや部活動指導員の配置充実 など



- ◆ 県内にはやりたい仕事が無いので県外に出る人もいる。起業教育を行うことにより、選択肢が増えるとともに、秋田に貢献できるという意識が向上すると思う。
- ◆ 高校生の県内就職率についてこだわる必要は無いと思う。グローバル教育や学力向上に力を入れるほど、県内に進学先・就職先が無いことから、優秀な人材は県外に流れる。むしろ県外に進学・就職した人たちのAターンを促進し、県外での豊富な経験を地域活性化に生かしてくれるような人材を育てることが重要。
- ◆ 大学卒業後、県内に戻って数年間仕事をした場合、奨学金の一部又は全部を県が負担する制度を設けることにより、優秀な人材が県内に集まる可能性がある。
- ◆ 教職員による授業の質の差が大きいと感じる。
- ◆ 強制的に資格試験を受けさせるのは止めてほしい。必要性が理解できない試験勉強で時間を取られるのは、非常に無駄と感じる。
- ◆ 子ども社会では、障害者（特に知的障害者）差別が依然としてある。SNS上の誹謗中傷が増えていることなども鑑みると、単に知識を与えるだけでなく、倫理観も養うべきである。
- ◆ 生徒が一人で抱え込まず、先生やスクールカウンセラーに気軽に相談できる環境をつくってほしい。
- ◆ 「性的マイノリティ」である児童生徒はアウティングを恐れている。アウティングに対する取組や防止策など、具体的な方策があると良いと思う。
- ◆ 統廃合により母校が消えてしまうのは悲しい。もっと魅力を発信して存続させてほしい。 など